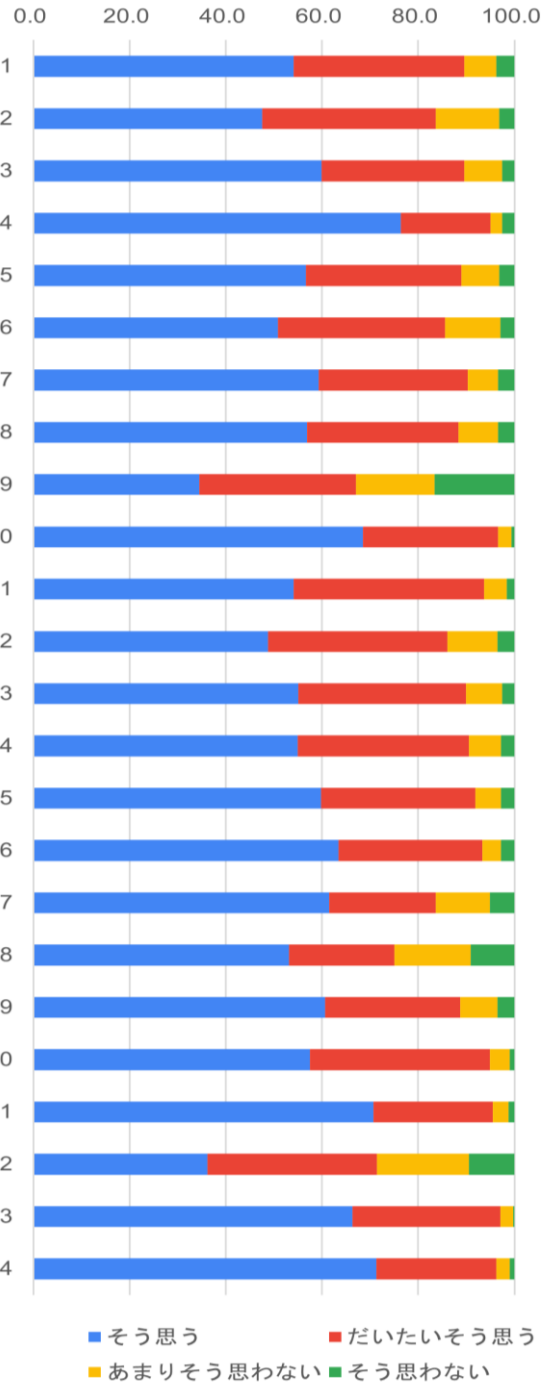


令和7年度 学校評価アンケート 集計結果

児童

質問項目

- 1 午前5時間授業は、勉強に集中できる。
- 2 午前5時間授業で、「早寝、早起き、朝ごはん」など、毎日の生活リズムに気を付けて過ごすことができている。
- 3 午前5時間授業で、放課後の時間を有効に使える。
- 4 朝遊びタイムやロング昼休みがあると、友だちとの仲が深まり、友だちとより仲良く過ごすことができる。
- 5 教科によって、授業の担当の先生が関わり、いろいろな先生に教えてもらうことで、授業がより詳しくわかる。
- 6 教科によって、授業の担当の先生がかわり、いろいろな先生に見守ってもらえて、安心してきたり、相談できたりして過ごせる。
- 7 教科によって、授業の担当の先生がかわり、授業でいろいろな先生にほめてもらえると、自信がつく。
- 8 マイプランを活用して、自分で学習の見通しをもって学んでいる《何を、いつ、どのように学ぶのかがわかる》。
- 9 マイプランに、自分の予定や学習内容をメモするなどして、自分で予定をたてて過ごすようにしている。
- 10 授業で学習していることが分かる。
- 11 学習のきまりやマナーを守り、落ち着いて学習している。
- 12 授業の中で、友だちとお互いに意見を伝え合い、自分の考えや意見を広げたり、深めたりしている。
- 13 授業では、目的（めあて）をもって、学習に取り組んでいる。
- 14 授業では、自分から考えたり調べたりして、学習に取り組んでいる。
- 15 他学年との交流活動（なかよし交流タイム・クラブ・委員会など）に、進んで取り組んでいる。
- 16 出前授業や校外学習などの体験的な学習に、進んで取り組んでいる。
- 17 長なわとびに進んで取り組んでいる。
- 18 休み時間に、進んで運動に取り組んでいる。
- 19 自分からあいさつをしている。
- 20 学校のルールを正しく守り、安全に気を付けて生活している。
- 21 地域やPTAの方々は、自分たちが安全に楽しく学校生活を送れるように支えてくれている。（地域見守りたい・校外委員・ブックママ・おはようどんぐりこ・オヤジの会など）
- 22 地域の行事活動に、進んで参加している。
- 23 よりよい学びにするためにタブレットを有効に使っている。
- 24 ルールを守ってタブレットを使っている。



考察 全体的に肯定的な回答が多かった。特に質問4「朝遊びタイム…」、質問21「地域やPTA…」、質問24「ルールを守って…」については、「そう思う」の回答が70%を越え、「だいたいそう思う」も合わせると95%を越えた。今年度はロング昼休みを毎週にし、朝遊びタイムも取り入れた。児童にとって休み時間が大変有意義な時間になっていることがよく分かる。また、質問21「地域やPTAの方々…」の回答からは、自分たちの学校生活の様々な場面で、保護者や地域の方々に見守っていただけていることを実感していることが伺える。質問24では、情報モラル教育や各学年での指導を通して、正しいタブレットの活用方法についての理解が深まっていることが分かる。

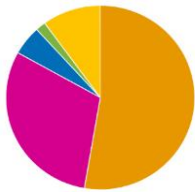
質問9「マイプランに…」、質問18「休み時間に…」質問22「地域の行事…」は、昨年同様に評価がやや低かった。引き続き、マイプランの積極的な活用、休み時間や長縄跳び集会を生かした運動習慣をつけること、地域行事への積極的な参加への呼び掛けなどを行っていく。

令和7年度 学校評価アンケート 集計結果

保護者

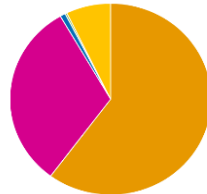
Q1

集中力の高い午前中に1コマ40分の5時間授業を実施し、生活や学習リズムの確立を図ったり、学習内容に則した弾力的な授業時間の設定や指導計画の工夫を行ったりしたことで子どもたちの学力の定着につながっている。



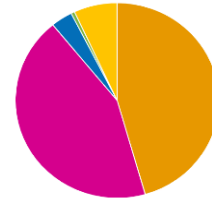
Q2

本校の児童は、1～6年生全ての学年で教科分担任や、3～6年生での算数コース別学習を実施することで、学習意欲を高め学力が向上したり、安心して授業に取り組んだりすることができている。



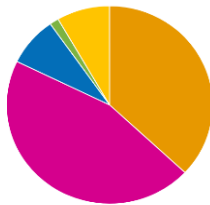
Q3

学校は、子どもたちが授業に興味関心をもち、進んで調べたり考えを發表したりしながら主体的・対話的に学習活動を進めることができるような授業の実践に努めている。



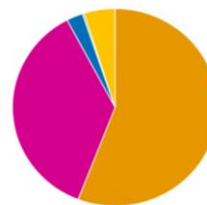
Q4

学校は、タブレットを活用して効果的に学習を進めている。また、情報モラルについて指導し、情報社会で適正な活動ができる子の育成に努めている。



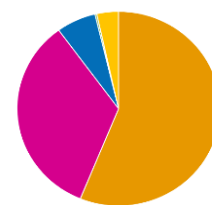
Q5

本校の児童は、学校行事や異学年交流（なかよし交流）、長縄跳び集会、地域の人たちとの体験活動等を通して、思いやりの心や自己有用感、自己肯定感が育っている。



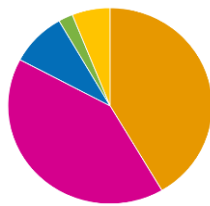
Q6

学校は、学校保健委員会や食育、長縄跳び、朝遊びタイムなどを通して子どもたちの健康・体力の向上につなげることができている。



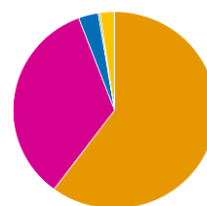
Q7

本校の児童は、食育を通して、健康を保つために大切なことを理解し、食に対する意識が高まっている。



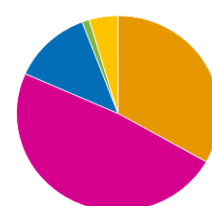
Q8

学校は、担任だけでなく学年、チームマネージャー、サポートティーチャー、児童支援専任とも連携して児童指導に取り組み、だれもが安心して通える学校づくりに努めている。



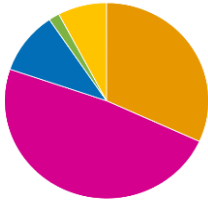
Q9

本校の児童は、基本的な生活習慣が身に付き、進んで挨拶をしたり、返事をしたりするなどの礼儀が身に付いている。



Q10

本校の児童は、きまりを守る意識が身に付いている。
 (「学校のやくそく」「タブレットの使い方」「交
 通ルール」「情報モラル」)



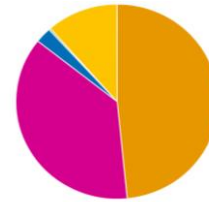
Q11

学校は、個に応じた支援体制(チャレンジルームや国
 際教室での個別支援や教室内に担任以外の教師が入る
 個別支援、算数コース別学習など)を整え、一人ひと
 りを大切にした支援を行っている。



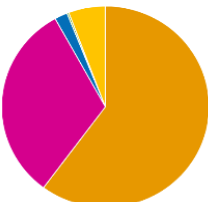
Q12

学校は、学校運営協議会や地域学校協働本部を設置
 し、社会に開かれた学校として、また地域と連携・協
 働して、子どもたちの活動が充実するように取り組ん
 でいる。



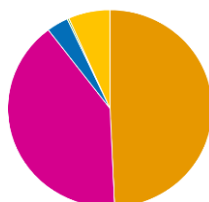
Q13

本校の児童は、保護者、地域の方や外部機関と連携した出前授業
 を受けることで、学習意欲を向上・深化することができている。
 (地域見守りたい、おはようどんぐり、ブックママ、オヤジの
 会、給食ボランティア等)



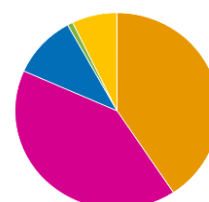
Q14

本校の児童は、生活科・総合的な学習の時間、特別活動等を通し
 て、地域・企業など関わる体験的な学習活動を行うことで自己
 有用感を高めたり、学ぶことや働くことの意義について考えたり
 することができている。



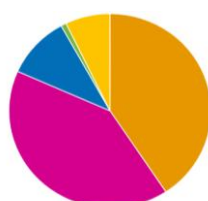
Q15

本校の児童は、自分づくりパスポートやマイプランを
 活用し、児童自らが見通しをもって学んだり、学習状
 況や生活を振り返ったりすることで、主体的に学びに
 向かう力が定着してきている。



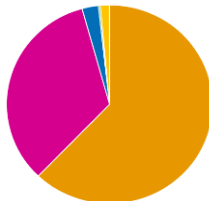
Q16

本校の児童は、年5回の児童アンケートや子ども面談
 を実施することにより、心配や不安などをしっかりと
 相談し、安心して生活することができている。



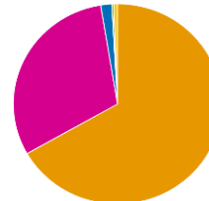
Q17

学校は、ホームページ、学校だより、学校説明会(HP
 に掲載)、すぐる、懇談会などを通して、保護者や
 地域の方々に情報提供を行っている。



Q18

学校は、懇談会、地域・家庭訪問、授業参観、個人面
 談、運動会、あざニミュージックフェスタなどを実施
 し、保護者との連携や開かれた学校づくりに努めてい
 る。



【考察】

全体的に肯定的な回答が多かった。昨年同様、質問8・17・18については、高評価をいただいた。質問8に関しては、チームマネージャー、サポートティーチャーを配置したチームでの学年経営、6年生でチーム担任制を行っていることや、児童支援専任を中心とした児童指導の体制を評価していただいた。
 質問17・18に関しては、「すぐる」での担任との連絡やお知らせの配信、年2回ずつ実施している個人面談や懇談会などを通して、保護者の方々と連携をとっていることを評価していただいた。
 質問1・2については、本校の大きな特徴でもある午前5時間授業、教科分担制について、「そう思う」「だいたいそう思う」との回答が多かった。しかしながら中学校進学にあたり、40分から50分という授業時間の変化への対応を懸念される声もあった。本校では、スキルタイムと6時間目を接続した60分1コマの授業を実施することもある。そのような時間も活用しながら、中学校生活へスムーズに移行できるように支援していく。
 質問9・10では、「挨拶」や「登下校のマナー」、「タブレット使用」についてマイナスな意見が目立った。登校時の挨拶運動、下校指導を継続して行っていく。タブレットについては、情報モラル教育と、使用ルールの徹底をしていく。

令和7年度 学校評価アンケート 集計結果

昨年12月に「すぐー」にて学校評価アンケートを実施し、355名の保護者の方にご回答いただくことができました(家庭数での回答率80.1%)。ご多用の中、多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。アンケートの集計結果を掲載いたします。



本当にありがとうございます。

保護者の声から

【学校全般】

様々なご意見ありがとうございます。学校としての考えについてまとめてお伝えします。

- 一年生に対してはいろんな先生にサポートしてもらっている感じがします。
- 苦手な子のために、じゅもっくんルーム、図書室、音楽室など様々な居場所をつくってくれていることがありがたいです。
- 先生が前向きに子どもたちを誘導してくれていると思います。先生やお友達の良いところをたくさん見つけ、お互いをリスペクトし、学校生活を楽しめていると感じます。
- 先生たちが児童をよく観察していて細やかな配慮がされていると感じています。個性を伸ばし、個にあった対応で全体に馴染ませていける工夫や教育を目標とされているなど感じています。
- 毎日、門のところで先生方が子どもたちに挨拶してくださったり、(見守り隊の方も)色々なボランティアで、子どもたちの様子がみられたり、ほんとに開かれた風通しの良い学校だと思います。学校に色々な人が入れるということは、子どもたちにとっても、良いことだと思います。
- 先生方がチームとして子どもたちを見守っていただけていると感じています。ご尽力に感謝します。
- 新しい考えや新しい取り組みを積極的に取り入れている学校だと認識しています。社会の変化がどんどん大きくなり、その変化に行政がついて行くのが難しくなっている現状がありますが、あざニはがんばっているなどとも思っています。
- 教科担任制やチームマネージャー制度で、たくさんの大人の目に見守られ、子どももいろいろな価値観に触れることができるのがありがたいです。ベテランはもちろん、若い世代の先生方が頑張ってくださっているので、保護者としても応援したい気持ちです。
- 子どもが心に不安を感じた時に担任だけでなく学年の先生も一緒になって相談に乗ってくれてとても心強かったです。クラス運営や教案作成、教材研究など様々な準備もしながらも子どもの心のケアに寄り添ってくださり感謝しています。
- 先日、旗当番をしましたが、ほとんどの子どもたちが挨拶をしてくれて感動しました。

- 学校と想いを共にして子どもを育てていくことが大切だと考えます。学校も子ども一人ひとりを大切に、子どもが将来幸せに生きていけるようにしたいと強く願いながら、日々教育をしています。そんな想いを保護者の皆様ともっと共有し、パートナーとして共に子どもに温かなまなざしを向けていければと思います。
- 本校では、苦手な教科の学習支援としてのチャレンジルーム、外国につながるお子さんの学習支援としての国際教室、気持ちを落ち着けたり、リラクセスが必要だったりする場合に使用するじゅもっくんルームを設置しています。他にも必要に応じて特別教室等を活用して、個に応じて「安心できる居場所」をつくるようにしています。
- 「子どもの笑顔」が教員の幸せです。子どもたちが笑顔で過ごせるように教職員も日々努力していますが、時には思い悩むことも多いのが現実です。そんな教員たちに温かな評価をしてくださったことに感謝いたします。

【教師の関わり】

- 画像の利用に関する著作権への配慮の有り様は少し心配にも思います。個人が情報を発信することが容易になっている昨今です。子どもたちの権利に対するリテラシーを養う視点から、正しい利用の模範を示すことが出来る運用ルールなどが整備されると有り難いと願っております。
- 先生による子どもへの性加害を防ぐ対策をもっと強化してほしいです。
- いじめに関して被害者が親に言わないでほしいと答えたからと、保護者に伝えない体制に疑問を感じました。また同様に加害者に対しても、何もしないで欲しいという希望をそのまま受け入れる対応は適切なものなのでしょうか。もしも自分が親で、子どもが深く傷ついて悩んでいるのに、それを学校側から報告を受けられない事があるのはやはり考えられません。隠されていると同じだと考えます。また、教育委員会への報告にも、カウントされていないという事でしょうか。
- 子どもたちの心が大らかに育つように願っています。先生には心を開いて話ができる、安心して相談ができる、そういう関係を築いてほしいです。
- 新人の先生にはもう少しサポート体制を強化できるとより良いと思います。

- 「著作権」に関してのご指摘、ありがとうございます。教職員の研修の機会を設け、意識向上に努めます。
- 今年度は、横浜市における教職員による子どもへの性加害が複数あり、大変ご心配をおかけいたしました。改めてお詫び申し上げます。教職員の人権意識を高め、性加害に限らず、教員が子どもを悲しまるということはあるのではない、ということをご全教職員で再確認し、不祥事防止に全力で取り組んで参ります。
- 「いじめ」の対応について、ご意見ありがとうございます。ご指摘の通り、友達を悲しませたり、嫌な気持ちにさせてしまったりした子に対し、適切な指導をするべきだと思っています。学校は「教育の場」として、子どもたちの健全育成を図る指導をして参ります。ケースによっては、「穏便に」「相手に言わないでほしい」などの強いご要望が出されることがあり、学校が指導の機会をつくりにくいことがあるのも現状ですが、学校の方針をしっかりとお伝えし、子どもたちの成長のために、適切に指導して参りたいと思います。
「学校いじめ防止基本方針」を改訂いたしました。学校 HP でご確認ください。
- 子どもが教師を信頼し、良い関係を築けるよう、学年チーム一丸となって努力して参ります。

【学校行事】

- 土曜参観や作品展など、働いている親も学校行事にもう少し参加できるようにしていただけたら、嬉しいです。
- 運動会が年々簡素化されていったのは少し寂しかったです。校長先生のお話がなくなったり、徒競走の1位から3位が並ばずにすぐに席に戻ったり、空の旗がなくなったり。効率化も大切かとは思いますが、簡素化を残念に感じている保護者の方も多かったです。
- ミュージックフェスタ、子どもたちの個性がいきいきとしていて、先生たち、スタッフのみなさまもあたたかく、ユーモアもあり、大変よい空気で溢れていた印象を受けました。
- 校外学習などでは活動報告を文面や画像で随時送ってください、今ごろどうしてるかな?など様子がわかり、良かったです。

- 学校行事は、子どもたちにとって、友達と協力して取り組むことのよさや大切さを学んだり、連帯感や所属感を実感したりするねらいをもって行っています。また役割を考えて活動したり、自己のよさや可能性を発揮して活動したりすることで、自分づくり(キャリア教育)に大きく影響するものと考えます。ご参観いただける機会が少ないことは申し訳ありませんが、子どもたちが様々な行事で、友達と協働して自分のよさを発揮し輝く姿を、保護者の皆様にもご覧いただき、温かな応援をしていただきたいと思います。
- 各行事の計画については、頂いたご意見も含めて教職員で振り返りをしています。その上で、次年度の計画に向けて検討していきます。

【児童指導】

- 死ねという言葉が飛び交ったり、上級生がふざけて叩いていることがあり、注意してほしい。
- 一部の暴れたりする生徒の影響で、学校が落ち着ける環境ではないと感じる事がある
- 生徒一人ひとりに事情があり、また限られた人員の中で丁寧にご対応いただいていることは十分理解しております。その上で、より深く学びたいと感じている子の気持ちも大切にさせて頂けるよう、ご配慮いただけますと幸いです。

- 友達も含めて周りの人に対しての子どもたちの言葉遣いについては、学校でも大きく問題視しております。学校だけでなく、地域社会全体で、子どもたちの心を育てる教育をしていかなければならないと感じています。学校では引き続き、指導いたします。子どもたちの言動で気になることやご心配なことがありましたら、いつでもご連絡ください。
- 子どもたち誰もが安心して豊かに学べる環境づくりに日々努めているところですが、不安を感じてしまう子どもや個別対応が必要な子どもが増えていることも現状です。限られた人員の中で、どの子にも支援や指導の手が届く体制づくりに引き続き尽力して参ります。

【タブレットでの学習】

- 授業参観時に後ろから見ていて、授業中のタブレットの扱い方のルールを、もう少ししっかりした方がいいように感じました。
- 世の中の流れでタブレットを取り入れての学習が多くなり、効率的に学習を進められる反面、自製の効かない子供にタブレットを使わせることがあまり良くない影響が出ているような気がします。
- 我が家もそうですが、タブレットを学校でルールを守って使えていない例は少なくないのかなと思います。以前、図書室の本の清掃をした時に、ものすごく充実していて面白そうな本がたくさんあることに驚きました。タブレットのアプリで読書するより、図書室で、本を読む機会を多くもてた方がいいのではないかなと思いました。

- タブレットの使用については、学校でもルールの見直し、徹底について教職員で話し合っております。各学年、クラスによって、指導の差が出てしまうことにならないよう、学校で統一したルールの徹底を図ります。また、どうしてもルールが守れないお子さんについては、ご家庭にもご協力いただいて指導や支援をしております。学校で使う端末は学習用端末です。子どもたちの学習の充実に活用できるよう「どの場面で」「どのように」使うかを考えて参ります。

【登下校時間・時程】

- 朝の校門開錠時間を8時から開けて欲しいです。1.2年生はまだ1人で鍵を掛けて通学が難しいため、同伴すると出勤に間に合いません。
- 近隣の公立小学校と比べて、下校時刻が早いように思います。下校時刻を早めるために、中休みや昼休みが短いのか、子どもが中休みに校庭で遊ぶ時間もほとんどないと言っておりました。休み時間も大切な社会勉強の時間だと思うので、下校時刻を延ばしてでも十分な休み時間の確保をお願いしたいです。
- 40分授業から中学進学で50分授業を受けるにあたり、突如として10分長くなる授業時間に対して、集中できるのかの懸念はあります。また、英語授業に関しては、小から中へうまくシフトできているような印象がありません。中学一年で求められている内容と小学校終了時点での英語内容が噛み合っていないのではないかと、というのが中学の授業参観で感じた事です。
- 40分授業は良いと思うが、中学になって急に長く感じる、というネガティブな意見を聞きました。高学年からは45分にしても良いかと思いました。

■本校では令和元年度から週に一日、午前5時間の日課を取り入れることから始め、令和3年度からは一コマ40分の完全午前5時間日課で運用しています。今年度はあざみ野中ブロックの全ての小学校(あざみ野第一小、黒須田小)も同様の日課を取り入れています。下校時刻は、3校とも、遅く帰る高学年で15時頃、早く帰る低学年で14時頃になっています。40分という短い授業時間で、子どもの集中力を高めることをメリットとして考えています。また、下校時刻を早めに設定しているのは、子どもたちの放課後の時間の確保と共に、教職員の働き方の改善もねらいとしてあります。子どもたちが下校してからの事務処理、様々な会議や対応の相談、翌日の授業準備等、教員のやるべきことが多いため、長時間労働にならざるを得ない現状があり、教職員の健康被害を防ぐ上でも教放課後の時間の確保が必要です。その点もどうかご理解いただきたくお願いいたします。

【給食】

- 給食の量が少なく、保育園の方が内容も充実していたと聞いている。本校だけの問題ではないと思うが横浜市の学校給食については改善の余地があると思います。
- 食後の歯磨きをする時間ができたら、一生使う歯なので、永久歯の生え代わりのこの時期に歯磨きをする。また歯磨きの習慣をつけられたらいいなと思います。
- 給食の牛乳パックの取り扱いについて、変更の検討をしていただきたいです。牛乳パックを開いてビニールをはがして捨てる作業。家では牛乳嫌いではありませんが、この牛乳パックのために牛乳嫌いになりそうです。
- 給食の牛乳ですが、最近は飲まない子どもたちも多いので、希望制にしてもらえると、廃棄の量も減るのではないかと思います。
- 上の子の時から、都合により給食の時間が短くなり、急いで食べなければならないことがたまにあると聞いております。食育の面からも、また子どもたちの健康のためにも、できるだけ落ち着いてよく噛んで食べられる時間が確保されると大変ありがたく感じております。
- 給食の時間が短く、全て食べられず、お腹を空かせて帰ってくるのがよくあります。

■横浜市では、20分を目安に食事の時間を確保できるよう、準備に15分、片付けに10分を加えた45分以上の時間を設定しており、本校も45分とっています。授業や準備時間等の関係で食べる時間が少なくならないよう、気を付けて参ります。

■牛乳の扱いにつきましては、体質によりどうしても飲めない事情がある場合の対応といたします。牛乳パックの紙を剥がさない場合、毎日牛乳パックを水洗いし、乾かしてから返却という流れになり、洗うという手間が増えることと、洗い方が不十分の場合の匂いの問題が発生します。また、各クラスが牛乳パックを毎日洗うには流し場の数が少ないという問題もあります。食後の歯磨きについても同様です。いただいたご意見をもとに、良い方法がないか検討いたします。

【休み時間】

- 学校での休み時間は、勉強以上に貴重な時間だと思っています。放課後の校庭開放がない今の時代、せめて学校の休み時間、学年を超えた遊びの中でたくさんの経験をして欲しいです。放課後の習い事のため、下校時刻が早いというのは一つの考え方だとは思いますが、塾や習い事では得られない経験が学校の遊びにはあると思っています。ぜひ、中休みや昼休みの休み時間の拡充をご検討ください。
- 1コマの授業時間を40分にして、子どもの集中力を上げていくことには賛成です。ただ、休み時間が短い点が少し気になっています。休み時間には、先生方や子ども同士で外遊びをする工夫ができたり、体づくりやコミュニケーション力を育てる大切な時間にもなると思います。働き方改革などの事情もあるかと思いますが、下校時刻が遅くなくても構いませんので、休み時間の確保やその使い方について、検討していただけるとありがたいです。
- 息子としてはもう少しだけでも休み時間が長ければ、と思っているようです。多少下校時刻が遅くなくても、休み時間がより充実するのであれば、それはそれで良いのかなど思ったりしております。
- ロング昼休み、もう少しあるといいなと思います。

■休み時間は子どもにとって大切な時間であることは学校も同様に認識しております。近隣校と比べて本校の休み

時間が特別に短いということではありませんが、日課の見直しを図る際には休み時間を削ることはしないようにしております。今年度から、隔週だったロング昼休みを原則毎週一回としたり、朝遊びタイムを設けたりしました。子どもたちが少しでも元気に自由に遊んでほしいと願っています。また、放課後には校庭を開放し、自由に遊ぶことができます。(2月～10月 16:30まで 11月～1月 16:00まで)

【要望等】

- 緊急性が無い連絡・確認事項は、電話ではなくすぐる上でやり取りできると助かります。
- すぐるに返信機能がないので、改善されたいと思います。また、振替休日など含めたら休日が多く感じます。
- 学年だよりやクラスだよりがあった頃の方がクラスのことがわかりました。毎月の学校だよりは紙で欲しいです。
- 卒業文集は、なくさないで欲しいです。
- コロナ禍はすぎましたが、学校の感染症対策に不安を感じる人が多いです。毎年学級閉鎖のクラスも出ていますので、インフルエンザなどの感染症が流行る季節だけでも、児童にマスク着用を励行したり、アルコール手指消毒剤を用意してすすめることは不可能でしょうか？それぞれの家庭にいろいろな考えがあると思うのですが、子どもたちに健康管理意識を持たせることの1つにもなるかなと思っています。
- ミュージックフェスタは DVD の販売をしてけると嬉しい。

■様々なご要望に対し、学校としてできることをしっかり考えて参ります。ありがとうございます。

貴重なご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。子ども一人ひとりにとって安心して通える学校、楽しく学べる学校にするために、教育活動の充実に向けて教職員一体となって努力して参ります。学校を応援して下さるご意見も多く、大変ありがたく感じております。いただいたご意見をもとに改善すべきところは改善して参ります。今後も保護者の皆様と一緒に、子どもたちの成長を温かく支えていきたいと思っております。よろしく願いいたします。尚、PTAについてもいくつかのご意見を頂戴いたしました。PTA 役員の皆様と共有いたします。

次年度から変更になります

今年度の本校の教育活動について、教職員全体で振り返り、次年度に向けての計画を立てております。その中で、次年度に大きく変更となる点でご家庭にも関係することについて、あらかじめお伝えしたいと思います。

1 次年度から、夏休み水泳教室を行わないことにいたします。

- <理由> ①昨今の夏の気候状況で熱中症アラートが毎日のように出される中での登下校ちや屋外活動の危険性をふまえて。
- ②コロナ禍前まで、夏休み中に行われていた「区水泳大会」に出場することをふまえての夏休み水泳という要素もあった。しかし、現在は夏の暑さを考慮して区水泳大会自体が行われていない。
- ③夏休み中に教職員の研修が予定されており、その時間を確保するため。

2 4月に行っていた「地域・家庭訪問」を「地域訪問」とし、教員が地域を回って地域環境の確認をいたします。それに替わって、5月に「個人面談」を新たに設け、進級後のお子様の様子等について新しい担任と保護者の方と情報交換させていただきます。

地域訪問 4月10日(金)、4月13日(月)

※担任がご家庭に伺うことはありませんので、在宅していただく必要はありません。

個人面談 5月14日(木)、15日(金)、18日(月)、19日(火)、21日(木)

※新年度になりましたら、改めてご都合をお伺いいたします。